



平成22年10月13日

大阪大学・科学記者クラブ加盟各社様

公立大学法人大阪市立大学
〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138
HP: <http://www.osaka-cu.ac.jp/>

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI 事業

小学生5～6年生を対象に、『「匠の技」に一日入門』を開催します

大阪市立大学では、平成22年10月24日（日）に、日本学術振興会主催の小・中・高校生のためのプログラム「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」事業の一環として、『「匠の技」に一日入門』を開催します。

今回は事前申し込みをされた小学生（5、6年生）、約20名が参加し、現代の匠のもとで、大工仕事や左官仕事を体験します。ぜひ取材にお越しくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

講座名	『「匠の技」に一日入門』 ※小・中・高校生のためのプログラム「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」事業（日本学術振興会主催）の一環
講座内容	むかしの日本の住まいは、木と土と紙でできています。木は柱や床板に、土は壁に、紙は襖や障子に使われました。ノコギリで切り、カンナで削り、ノミで穴をあけて材木を加工するのが大工仕事、コテを使って壁土を塗るのが左官仕事です。大工、左官の職人は「匠」（たくみ）とよばれて、人びとから尊敬されてきました。今回の講座では、小学生に、普段触れる機会の少ない大工仕事と左官仕事を体験してもらいます。 （1）大学生と江戸時代の建物たんけん（大阪くらしの今昔館の江戸時代の町並み展示） （2）木造建築の材料と技術（継手と仕口※の解説） （3）大工仕事の体験「ノコギリを引こう、カンナで削ろう」 （4）左官仕事の体験「土壁を塗ろう」 （5）上方落語に聞く職人の暮らし （6）未来博士号の授与 ※2つ以上の部材を、組み合わせて接合する方法。
講師	代表者：大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授 谷直樹（たに なおき） 左海晃志（大阪工業技術専門学校大工技能学科）、桂出丸（落語家）ほか
開催日時	平成22年10月24日（日） 受付開始：12:00、プログラム：12:30～18:00（予定）
会場	大阪市立住まいのミュージアム 大阪くらしの今昔館 大阪市北区天神橋 大阪市北区天神橋 6丁目 4-20 大阪市立住まい情報センター内

【取材についてのお問い合わせ先】

公立大学法人大阪市立大学
法人運営本部総務課広報担当（小澤・矢野）
TEL：06-6605-3570 FAX：06-6692-1295